

キーワード	生活困窮者	貧困・格差	緊急支援	フードバンク	活動地域	沖縄県
事業名	食料集荷拠点整備及び余剰食料提供事業					
事業年度	平成 24 年度	助成金額	984 千円			
団体名	特定非営利活動法人 フードバンク・セカンドハーベスト沖縄					
所在地	〒902-0073 沖縄県那覇市上間 200-1 大栄アパート 101 TEL : 098-853-3001					
団体HP	http://2h-okinawa.org/					

事業の背景

- ◆品質の問題はないのに廃棄されてしまう食品を有効に活用したいという理念のもと、平成 19 年から県内のホームレス支援を行う団体に食糧を届け始めました。また、地域の社会福祉協議会や地方自治体の福祉関係部署など公的機関等を通じて、生活困窮世帯を対象とした食糧提供も行っています。
- ◆沖縄県の貧困問題は深刻で、事業開始以降、食糧配布数は増加傾向にあります。そのため、食を通じて路上生活者や母子家庭などの支援団体や低所得者を支援するには、より広い拠点を確保し、食糧を届ける人手や支援体制づくりが必要です。

事業の概要

- ◆専用の拠点を設けたことで、生活困窮者世帯や生活困窮者を支援する人々への食糧支援の充実を量・質ともに図ることができました。食糧配布の規模を拡大するとともに、行政をはじめとする支援機関と連携して、分かりやすい食糧配布の仕組みを作ったことで、支援の必要な人へ確実に食品を届けることができるようになり、活動が県内市町村に浸透しました。
- ◆生活困窮者の支援には、食糧を配布するだけでなく、自立に向けた職業訓練や日中活動の場の提供が必要なため、これらの新たな課題に取り組むために、平成 25 年度は就労支援のノウハウを持つ団体と連携して事業を進めています。
- ◆増加する支援ニーズに応えるためにも、食糧配布の需要と供給の調整をいかにしていくかが今後の重要な課題になります。島内の企業と継続的なつながりを持ち、支援者を開拓することで、地域性を活かした取り組みの進展が期待されます。

ここに注目！

- ☞ 緊急に食料配布が必要とされる場合や行政の担当者が異動などで変わる場合であってもスムーズに対応できる“誰もが分かりやすい”仕組みを定着させることができました。
- ☞ 食糧を配布するだけでなく、生活困窮者の自立に向けた取り組みという新たな課題を見つけ、その支援を具体化する新たな支援が始まりました。